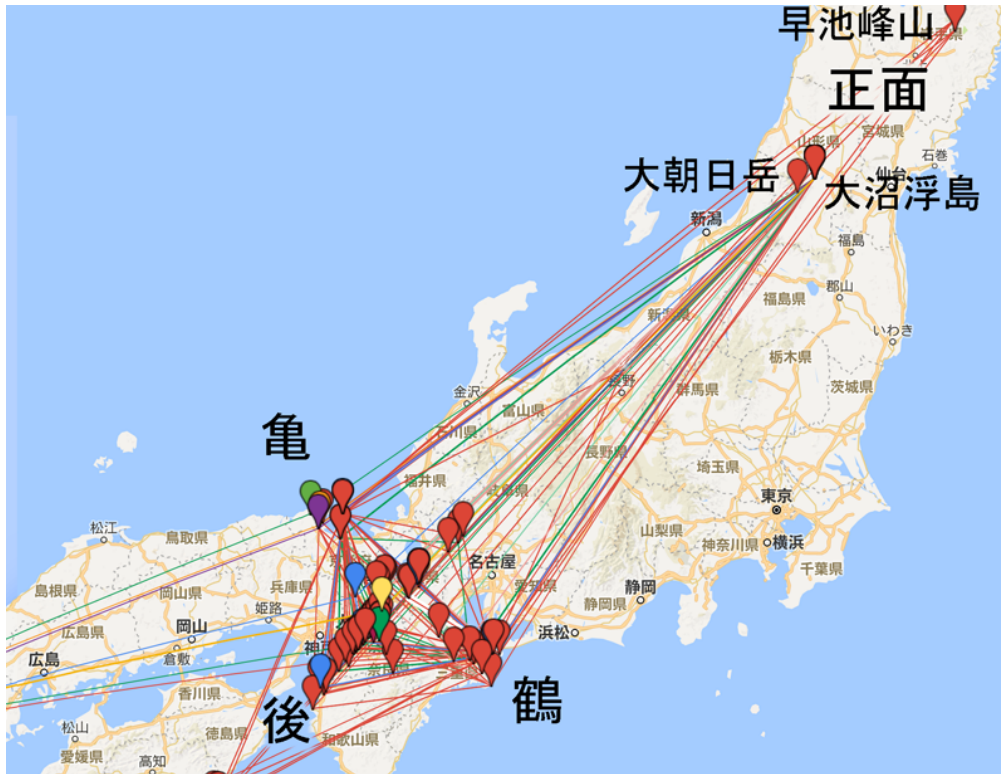


かごめ唄の真実「後ろの正面」は誰？



かごめかごめ 籠の中の鳥は いついつ出やる？
夜明けの晩に
鶴と亀が滑った 後ろの正面だあれ

いろんな解釈があるが、この唄こそ、十字架封印型しくみ（三角祭祀線）のことを歌ったものに違いない。図のようなしくみは他にも幾重にも施されている。唄は、童女が巫女に訊ねるかけ合いになっており、最後は誰が封印されているかを解くヒントが歌われている。

かごめ	→ 神具女（かぐめ・巫女）
籠の中の鳥	→ 六芒星の呪術で封印された本当の神様
いついつ出やる	→ いつになったら出てくれるの？
夜明けの晩に	→ 夜が明けようとする晩 呪縛が解けて新しい時代が始まる直前に
鶴と亀が	→ （鶴）真鶴伝説の伊勢志摩の神々と （亀）浦島伝説の丹後半島の神々が
すべった	→ 合わさった所 鶴亀の神を統べている支配している
後ろの正面	→ その合わさり目にいる神々（支配神）の正面 鶴亀の神の斜め後ろにいる神々（支配神）」の「正面」

すなわち、こんなふうになる。

童 女「かぐめさん、かぐめさん。六芒星の呪術の籠に封じられた神様は、いつになったら出てくれるの？」

巫 女「呪縛が解けて悪い時代が終わり、新しい時代が始まる直前によ」

「(鶴) 伊勢志摩と (亀) 丹後の神々の後ろの合わさり目で支配している神々がいますが、その正面に封じられている元々の国津神は誰でしょうか?」

答 え「大朝日岳・大沼浮島、早池峰山の瀬織津姫」



※祭祀線は全て社寺本殿、本堂、山頂、大石の中心、島の中心、岬などとピンポイントで繋がっています。

備考

図のような十字架封印型しくみ（三角祭祀線）は、大朝日岳・大沼と早池峰山に幾重にも施されています。サイト内の各時代を開いてご検証ください。→妄想歴史調査ノート

鶴・亀の神には出雲系と大和系、後ろの支配神は大和系の神が配置されています。この形は天皇（後）が右大臣（鶴）・左大臣（亀）を使って蝦夷（正面）を支配する定番の形のようにです。

以前は、饒速日命（ニギハヤヒノミコト）は大朝日岳に、瀬織津姫（セオリツヒメ）は早池峰山や大沼浮島に封じられていると思っていましたが、封じられているのはどこも大地神の瀬織津姫（自然霊）だけでは思うようになりました。

饒速日命は太陽そのものだから消しようがありません。太陽神の象徴だった饒速日命は、天照皇大神（アマテラスオオカミ）にすり替えられたのだと思います。伊雑宮で瀬織津姫とアマテラスが同神と伝わっているのは、きっとすりかえられた饒速日命と瀬織津姫の合体神の状態を指しているのだと思います。

現代においても、なにかと大地（水）を汚し壊す国づくりが行われているのは、太陽と大地を引き離したい同じ流れなのではないでしょうか。

呪縛が解けて、平和だった縄文時代の大地神と太陽神の時代に戻ることを心から祈ります。

2017.7.19 リュイテン太陽

しくみ ～定規とコンパス～ 2017 リュイテン太陽